

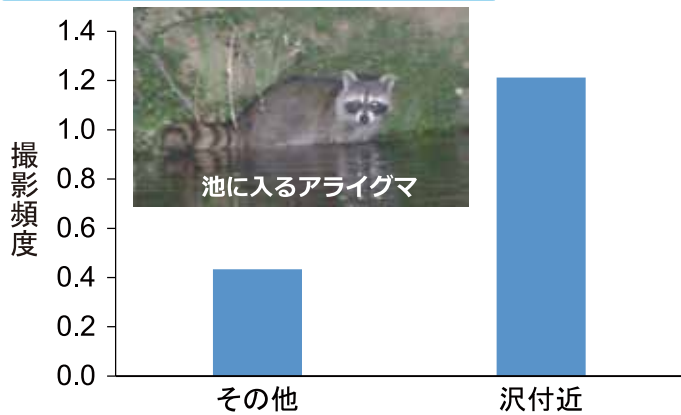
# 府内での行動調査結果

- 動物が前を通ると自動的にシャッターが落ちる、赤外線センサー付自動撮影カメラを府内各地に設置して、アライグマの行動を写真や動画で調査しました。
- 撮影頻度（カメラを100日設置した時に撮影される個体数）や、滞在時間を算出し、大阪府内におけるアライグマの行動特性を解析しました。



## よく利用する場所は？

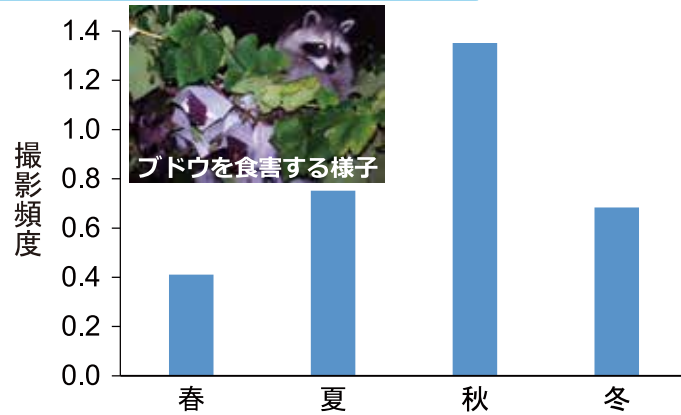
### 沢付近（水辺環境）の利用



- よく言われているように、沢筋などの水辺環境を好んで利用するようです。

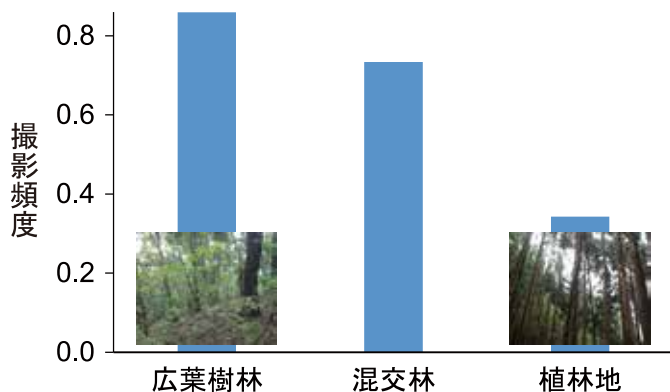
## 季節や時間による違いは？

### 季節による違い



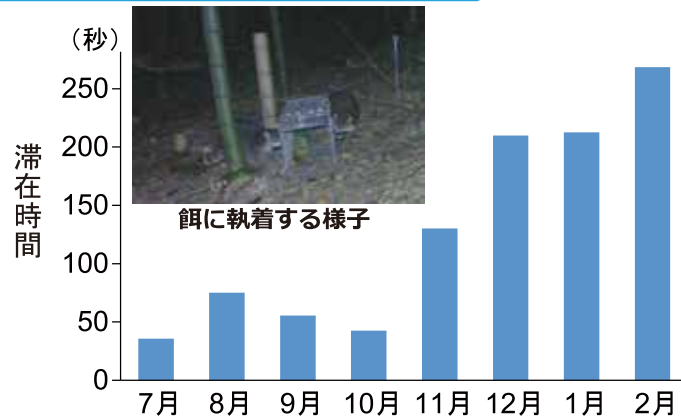
- 夏から秋にかけて活発に活動するようです。
- 府内では季節を問わず、冬場もよく活動しています。

### 森林環境による違い



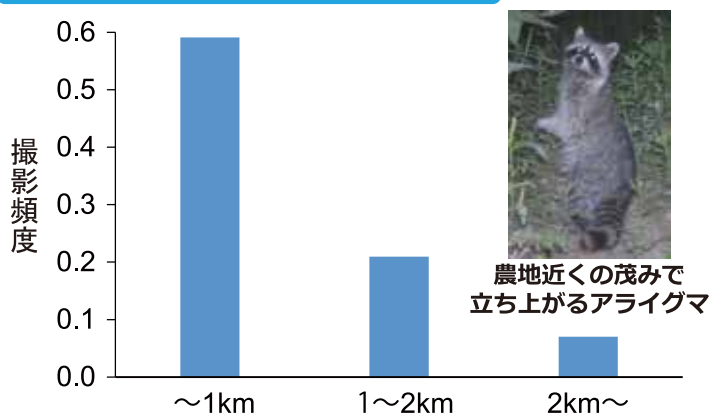
- 明るい広葉樹林をよく利用しています。
- スギやヒノキの植林地はあまり利用しません。

### 餌場での滞在時間の変化



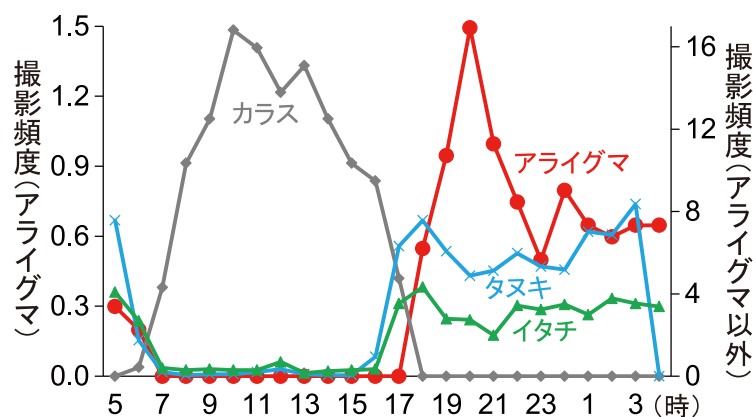
- 餌の少ない冬場には餌場に執着し、頻繁に利用するようになります。

### 森の深さによる違い



- 町や農地の近くをよく利用しており、遠く離れた山深い森の中にはあまりいないようです。

### 餌場を利用する時間帯



- 府内のアライグマは、主に夜間活動しています。
- 同じ時間帯に活動するタヌキやイタチ、昼間に活動するカラスに捕獲用の餌を取られないよう注意が必要です。